

令和7年度（横浜水取沢高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底	公務の内外を問わず、教育に携わる公務員としての自覚、意識を高めるとともに、教職員としてのコンプライアンス意識向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> * 事故・不祥事防止会議を毎月実施市、啓発資料を基にした事故防止研修会を実施できた。 * 時宜に応じた課題を取り上げ、規範意識の向上や具体的な業務に係る事故防止をはかることができた。 * 経験年数の浅い職員、臨時的任用職員との定期的な面談などを通じて実態に即した事故・不祥事防止意識を高揚・維持することができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職員の職務能力、意欲等の向上と信頼関係のある職場環境を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> * パワハラ防止指針の徹底や職員の理解促進を図り、ハラスメント全般にわたる意識の向上とハラスメントの防止に努めた。 * 職場における相談やコミュニケーションの活性化を図り、ハラスメントの置きにくい職場雰囲気を醸成した。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラなどの未然防止	わいせつ・セクハラ行為に対する認識を深め、人権意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> * SNSの利用や、私的なやりとりを制限、情報共有を図ったほか、私物端末の利用も禁止して環境整備を行った。 * 生徒の指導に当たる際の留意点や環境整備を進め複数指導の徹底や指導環境の配慮を行った。
体罰、不適切指導の未然防止	生徒の人権に配慮した適切な生徒指導を行い、体罰や不適切指導を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> * 体罰や不適切指導、心理的、身体的な接触等を意識して適切な指導を行う環境を整えた。 * 生徒、保護者への丁寧な対応により信頼ある人間関係を構築することができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類等の作成及び取扱いに係る事故防止	正確で公正な選抜業務や成績処理を行う。また、関係書類の発行に係る適正な事務処理を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> * 入選マニュアルによる組織的な業務遂行を徹底し、課題の共有を徹底し事故防止に努めた。 * 入選業務の重要性、特殊性を職員間で共通理解を図り、研修等の実施により業務内容の適切な理解を深めた。 * 進路関係資料の作成、保管、書類取扱等において適切な取扱を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報管理の意識向上を図り、情報セキュリティ対策を講じて紛失・漏洩等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> * 個人情報の持ち出しを原則禁止し、一部行事等の緊急対応用を除き生徒情報の持ち出しを行っていない。 * 対策重要度に応じた個人情報の管理を徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	法規範遵守を徹底し交通事故、飲酒運転を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> * 公務・非公務にかかわらず交通法規の遵守に努めたほか、自転車を含む交通安全意識の向上に努めた。

業務執行体制の確保	業務執行に係る共通理解・共通認識を深め、業務執行体制に係る事故の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> * 職員間のコミュニケーションや、情報共有について円滑に行えるよう余裕と機会を確保し、共通理解を図ることができた。 * 様々な事象に関する「連絡」「報告」「相談」を徹底し、組織的な対応を行った。
財務事務等の適正執行	県費、私費で公正な予算編成と適正な執行を行い、事故を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> * 私費会計基準の遵守とマニュアル・手引きの周知により適切な私費の執行に努めた。 * 現金管理の徹底と現金決済の縮減に努め、ネットバンキング等の活用を進めた。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

概ね、事故不祥事防止ゼロプログラムで挙げた課題について、適切に対応することができ、大きな事故・不祥事なく業務の遂行にあたることができた。今後も引き続き課題に対して継続して注意喚起や研修等を通じて職員の意識向上と業務の適切な執行を行っていく。また、人員の変更や新たな職員の加入による引き継ぎ、業務継承も円滑に行われるよう努めていく。